3. 具体的対策による効果

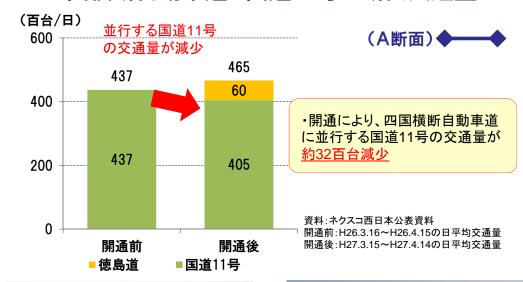
- ①四国横断自動車道 徳島~徳島JCT~鳴門JCT
- ②徳島東環状線 徳島市住吉~徳島市安宅
- ③徳島南環状道路 上八万IC~徳島市八万町橋北
- ④一般国道55号 阿南道路阿南市津乃峰町西分~橘町大浦
- ⑤高架下利用型パーク&バスライド
- ⑥渋滞発生時間帯回避マップ

3. 具体的対策実施による効果 ①四国横断自動車道 徳島~徳島JCT~鳴門JCT

- ○平成27年3月14日に四国横断自動車道徳島〜徳島JCT〜鳴門JCTの開通により、徳島自動車道と高松自動車道が接続されダブルネットワークを形成し、並行する国道11号では交通量が約32百台減少。
- ○平成27年度は、四国横断自動車道徳島東~徳島JCT間の一部工事着手。



■四国横断自動車道と国道11号の断面交通量





平成27年3月14日開通式



開通後の松茂PA付近

◇渋滞緩和が期待される箇所

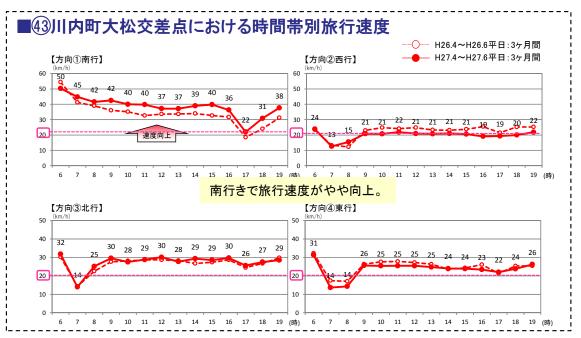
番号	箇所名	番号	箇所名
1	吉野川大橋南	6	中昭和町
2	北常三島付近	7	南昭和町一丁目
3	助任橋	8	沖浜東
4	徳島本町	41	工業団地南
5	かちどき橋付近	42	平石

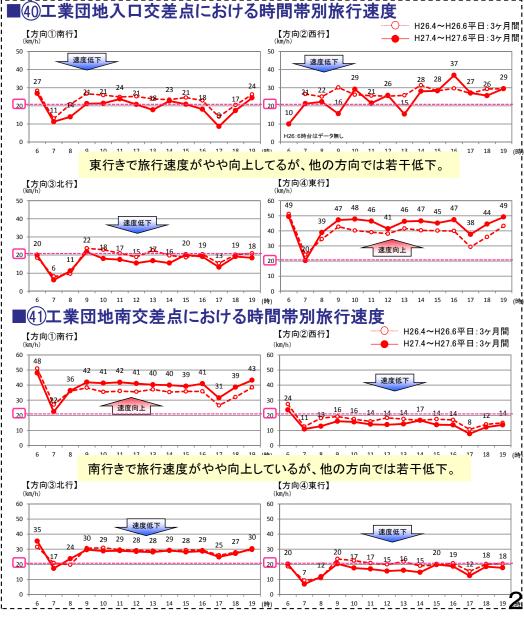
番号	箇所名		
43	川内町大松		
44	安宅二丁目		
45	阿波しらさぎ大橋南		
64	川内町竹須賀		
65	吉野川大橋北詰		

3. 具体的対策実施による効果 ①四国横断自動車道 徳島~徳島JCT~鳴門JCT

- ○開通後の直近の交通データで渋滞状況を検証。
- ○川内町大松交差点では、南行きでやや旅行速度の向上が見られる。
- ○工業団地南交差点においても、南行きでやや旅行速度の向上が見られるが他の方向では旅行速度が若干低下。
- ○また、工業団地入口交差点では、東行きでやや旅行速度の向上が見られるが他の方向では旅行速度が若干低下。







3. 具体的対策実施による効果 ②徳島東環状線 徳島市住吉~徳島市安宅

- ○平成27年3月20日に一部区間(徳島市安宅~徳島市住吉)が開通したことにより阿波しらさぎ大橋から安宅二丁目交差点に接続す る下りランプが開通。
- ○この開通により、城東下りランプで処理していた交通が分散し、阿波しらさぎ大橋南交差点南行き方向の渋滞長が減少し、走行環境が 改善している。
- ○安宅二丁目交差点から上りランプを含む北行き高架道路については、平成30年度の開通を目指しており、現在その区間の高架橋上部 工事を施工中。



番号	箇所名		
1	吉野川大橋南		
2	北常三島付近		
3	助任橋		
4	徳島本町		
5	かちどき橋付近		
6	中昭和町		
7	南昭和町一丁目		
8	沖浜東		

市町村境界

▶ 整備前の交通流動

▶ 整備後の交诵流動

番号	箇所名		
10	大野		
43	川内町大松		
44	安宅二丁目		
45	阿波しらさぎ大橋南		
46	昭和IC		
47	新浜町一丁目		
48	新浜本町二丁目付近		
49	勝浦浜橋南		

1	番号	箇所名		
1	64	川内町竹須賀		
1	65	吉野川大橋北詰		
1		<u> </u>		

★ 徳島阿波おどり空港 ■阿波しらさぎ大橋南交差点における渋滞長の変化



・安宅下りランプの開通により、阿波しら さぎ大橋南交差点と安宅二丁目交差点 に下りランプの交通量が分散し、交差点 の渋滞長が減少した。

く阿波しらさぎ大橋南交差点 (南行き)の渋滞長の変化>



資料:グラフに示す年月日における渋滞長調査結果 徳島県及び徳島河川国道事務所実施による



写真①: 阿波しらさぎ大橋南交差点渋滞状況

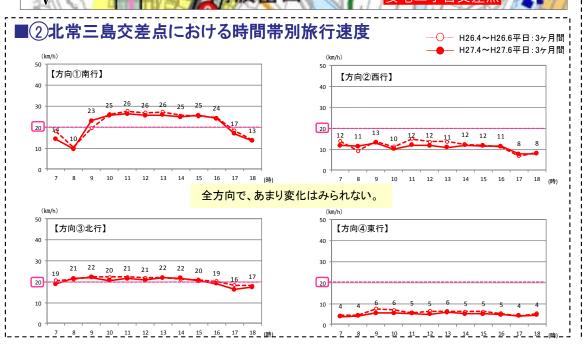


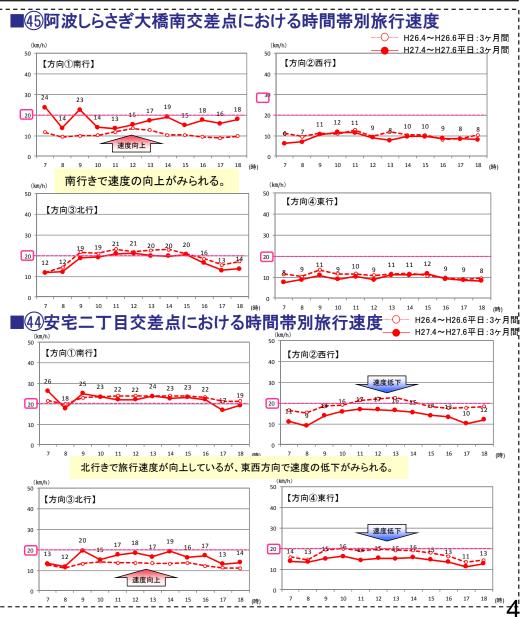
写真①: 阿波しらさぎ大橋南交差点渋滞状況

3. 具体的対策実施による効果 ②徳島東環状線 徳島市住吉~徳島市安宅

- ○開通後の直近の交通データで渋滞状況を検証。
- ○阿波しらさぎ大橋南交差点では、南行きで旅行速度の向上が見られる。
- ○安宅二丁目交差点では、北行きで旅行速度の向上が見られるが、他の方向では旅行速度が低下。
- ○また、並行する国道11号北常三島交差点においては、旅行速度に変化は見られない。







3. 具体的対策実施による効果 ③徳島南環状道路 上八万10~徳島市八万町橋北

- ○平成27年2月28日に一部区間(上八万IC~徳島市八万町橋北間)が開通したことにより、並行する県道鮎喰新浜線の交通量が約6割 減少。
- ○それに伴い、主要渋滞箇所である法花大橋北詰交差点東行きの渋滞長が解消し、国道55号から文化の森までの所要時間が6割短縮。
- ○平成27年度は、未開通区間の改良工事等を推進。



<主要渋滞箇所に近接する主な施設> 主な大規模商業施設 整備前の交通流動

❤━▶ 整備後の交通流動

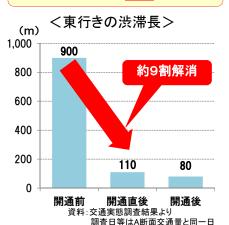
◇渋滞緩和が期待される箇所

番号	箇所名		
3	助任橋		
4	徳島本町		
5	かちどき橋付近		
6	中昭和町		
7	南昭和町一丁目		
8	沖浜東		
9	9 大野橋北詰		

100回加			
番号	箇所名	番号	箇所名
10	大野	19	冷田橋北詰
11	徳大医学部前付近	20	法花大橋北詰
12	佐古六番町	21	法花大橋南詰
13	佐古二番町	22	城南町二丁目
15	八百屋町	23	園瀬橋北詰
17	二軒屋町三丁目	25	東大工町
18	南二軒屋町		
	番号 10 11 12 13 15 17	番号 箇所名 10 大野 11 徳大医学部前付近 12 佐古六番町 13 佐古二番町 15 八百屋町 17 二軒屋町三丁目	番号 箇所名 番号 10 大野 19 11 徳大医学部前付近 20 12 佐古六番町 21 13 佐古二番町 22 15 八百屋町 23 17 二軒屋町三丁目 25

■主要渋滞箇所: 法花大橋 北詰交差点の渋滞長の変化

徳島南環状線の開通により、 東行きの渋滞が解消







■国道55号から文化の森への 所要時間の変化

文化の森までの所要時間が約5分短縮



資料:徳島河川国道事務所調査データ 開诵前: H26.3.4 開诵後: H27.3.12

■A断面交诵量の変化(全車)

徳島南環状線の整備により、県道 鮎喰新浜線の交通量が分散。



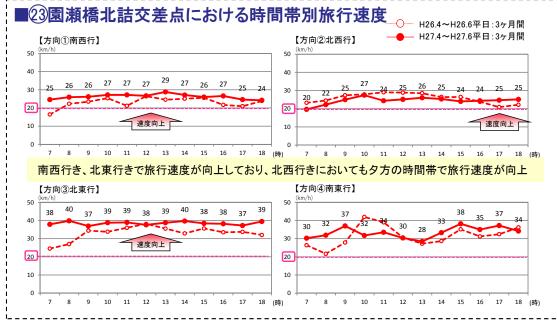
徳島南環状道路 ■県道鮎喰新浜線

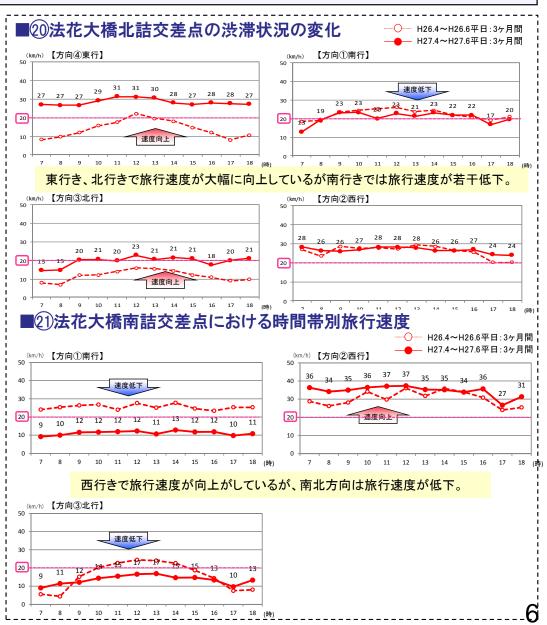
資料:交通実態調査結果より 開通前 : H26.3.4 開通直後: H27.3.4

3. 具体的対策実施による効果 ③徳島南環状道路 上八万10~徳島市八万町橋北

- ○開通後の直近の交通データで渋滞状況を検証。
- ○園瀬橋北詰交差点では、南西行き及び北東行き等で旅行速度の向上が見られ、すべての時間帯において、 20km/hを越えている。
- ○法花大橋北詰交差点では、東行き及び北行きで旅行速度が大幅に向上しているが、南方向の旅行速度は若干低下。
- ○法花大橋南詰交差点では、西行きで旅行速度が向上しているが、南北方向は旅行速度が低下。







3. 具体的対策実施による効果 ④一般国道55号 阿南道路阿南市津乃峰町西分~橘町大浦

- ○平成25年11月2日の一部区間(阿南市津乃峰町西分~橘町大浦)の開通により、主要渋滞箇所である津乃峰町東分交差点北行きの 渋滞長が380mから10mに減少。
- 〇また、当該交差点の渋滞通過時間も約2分短縮しており、渋滞の緩和傾向がみられる。 〇平成27年度は、平成31年度の阿南市那賀川町中島から同市西路見町江川間の4車線化開通に向けて、那賀川大橋の架設工事に着手。



60

61

62

72

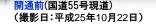
74

75

76

◆→ 整備後の交通流動 <主要渋滞箇所に近接する主な施設> <道路種別> <主要渋滞筒所> 渋滞緩和が期待 高速道路 主な工場等 される箇所 直轄国道 上記以外の箇所 主な大規模商業施設 凡例 補助国道 主要地方道 エリア 市町村境界 その他道路





資料: 徳島河川国道調査事務所調査データ 開通前:平成25年10月22日(火) 開通後:平成27年9月4日(金)

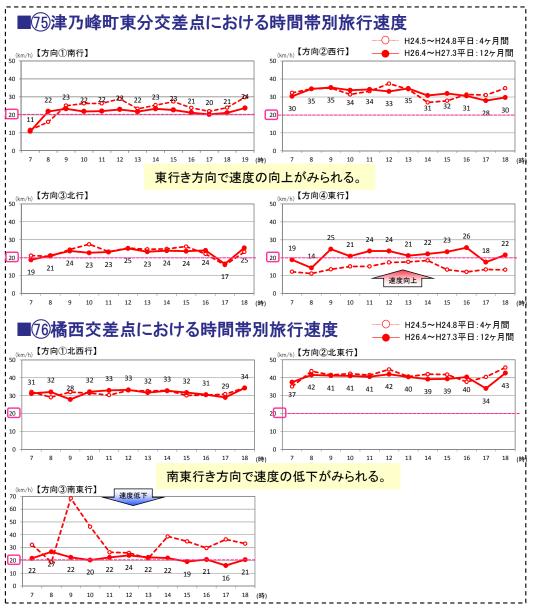


開通後(国道55号現道) (撮影日:平成27年9月4日)

3. 具体的対策実施による効果 ④一般国道55号 阿南道路阿南市津乃峰町西分~橘町大浦

- ○開通後の交通データで渋滞状況を検証。
- ○津乃峰町東分交差点では、東行きで旅行速度が向上し、20km/h越える時間帯が多い。
- ○一般国道55号阿南道路取付部である橘西交差点では、南東行きに速度低下がみられる。





3. 具体的対策実施による効果 ⑤高架下利用型パーク&バスライド

- ○徳島市中心部に流入する交通を抑制するために松茂町内の国道11号広島ランプ高架下の空間を有効活用したパーク&バスライドを昭和 56年4月より実施(平成12年3月にリニューアル)しており、収容可能台数は100台。利用者数25名(H27.8末現在)。
- ○利用促進を図るため、利用者の声等を踏まえ、<u>平成27年2月より対象バス停と対象路線の拡大を実施</u>。 ○利用者の増加は見られないものの、約3割の利用者が新たに利用可能とした「広島」バス停を利用しており、利便性が向上。
- ○今後、利用者へのアンケート等により対象路線拡大による効果や今後の施策展開について検討。

■利用促進に向け、昨年度に実施した施策

- (1)利用要件の緩和
- ①対象路線の拡大
 - ・鳴門線『吉野川大橋・中喜来(BP)経由』のみ対象から、 鳴門線『広島(東発・木津)経由』及び川内・松茂線『前川経由』 を新たに追加
- ②対象バス停の追加
 - ・『広島ランプ』のみ対象から、『広島』を新たに追加

【利用可能便数などの比較】

		従前	変更後
広島ランプ・	始発便	7:18	6:42 (36分くり上げ)
広島発(上り)	便数(9時以前)	6 便	13便 (7便増加)
徳島駅発(下り)	最終便	20:30	21:30 (1時間くり下げ)
	便数(17 時以降)	6 便	18便 (12便追加)

(2)広報活動の強化

- ①パンフレットの作成・配布
- 要件緩和の告知、利用促進
- ・町報や新聞への折り込み等 による配布
- ②事務所HPにバナー設置

パーク&バスライド 利用しやすくなりました!

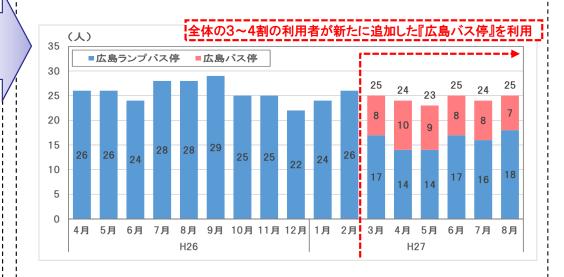


出典:徳島河川国道事務所ホームページ



■(効果速報)利用要件の緩和による契約者の変化

- ・追加した広島バス停の利用者が7名。(現在の利用者25名中。H27.8末現在)
- •P&BRを利用されている方の日常の利便性の向上に寄与している。
- ・施策実施後は、新たに4人の方が利用を開始するなど、利用者利便性向上策 に対する一定の効果が確認できた。



■今後の予定

今後、利用者へのアンケートによる意向把握や定量データなどから、 当施策の効果検証を踏まえこれからの施策展開について検討を実 施。

3. 具体的対策実施による効果 ⑥渋滞発生時間帯回避マップ

- ○平成27年2月に<u>渋滞発生時間帯回避マップを公表</u>。情報提供の方法は、チラシ、ポスター、横断幕、HP等の広報ツールにより実施。 ○マップに掲載されている箇所の旅行速度に大きな変化は見られないものの、工業団地内の企業へのヒアリングでは、<u>約7割が渋滞時間の</u> 情報提供は道路利用者にとって有効な情報と回答。
- ○○○への反面、時差通勤への契機とはなっていないため、工業団地内企業の従業員アンケートの実施し、今後の施策展開について検討。

■渋滞緩和に向け、昨年度に実施した施策

- (1) 渋滞発生時間帯回避マップを作成
- ・プローブデータにより、渋滞が発生している時間帯を 特定し、その時間帯を避けるよう促す「渋滞発生時間 帯回避マップ」を作成
- ①徳島県全体版(平日朝・夕、休日)
- ②買物のお客様を対象(フジグラン北島、ゆめタウン徳島)
- ③企業・従業員を対象(今切工業団地、辰巳工業団地)



◆各工業団地で紹介した渋滞交差点箇所

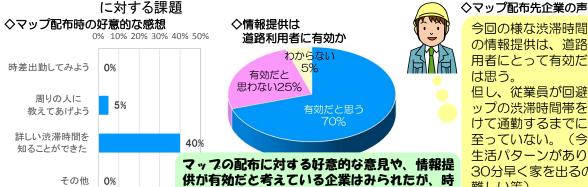


■(効果速報)企業ヒアリングによる当施策に対するご意見

ヒアリング対象:工業団地内企業(H27.9.2~11にかけて今切工業団地、辰巳工業団地の19社を対象)

ヒアリング方法:対面式アンケート(一部、先方の希望によりFAX調査で実施)

ヒアリング内容:マップ配布による行動変容の状況、施策の是非、マップ活用(時差通勤への協力)



今回の様な渋滞時間等 の情報提供は、道路利 用者にとって有効だと は思う。

但し、従業員が回避マ ップの渋滞時間帯を避 けて通勤するまでには 至っていない。(今の 生活パターンがあり、 30分早く家を出るのが

■渋滞交差点における旅行速度の変化

渋滞交差点において渋滞発生時間帯回避マップで示した時間帯において旅行速 ----- H26.4~H26.6平日:3ヶ月間 度の増減は一部みられるが、渋滞のピークカットにはつながっていない。 — H27.4~H27.6平日:3ヶ月間:

差通勤への動機づけには至っていない状況。

